

II

社会参加・共生推進学習事業の概要



Ⅱ 社会参加・共生推進学習事業の概要

社会参加の機会が少ない市民を対象に、社会参加を促進するための支援学習を行った。外国人市民等(外国人市民や帰国した日本人市民)が日常生活に必要な日本語などを学ぶ識字学習活動、国語・数学などを中心に中学校課程の基礎的知識と教養を学ぶ社会人学級、障がいのある人の余暇活動と社会参加をめざす障がい者社会参加活動等の事業を各区の地域性を活かしながら実施した。

(1) 識字学習活動

識字学習活動は、外国人市民等が日本での生活を円滑に営めるように、日常生活に必要な基礎的日本語を身につける場であり、支援する場である。1985(昭和 60)年から中原市民館で実施していた社会人学級の日本語科(夜間)を国際識字年である 1990(平成 2)年に識字学級として独立させ、さらに午前の学級を新たに開設した。その後、1992(平成 4)年に麻生市民館、1993(平成 5)年に教育文化会館田島分館、幸市民館で順次開設し、1996(平成 8)年からは全市民館で実施されるようになった。各館では識字・日本語ボランティアが学習のみならず日常生活を支援している姿が見られる。学習者は異文化理解への協力者として地域(学校)などで活躍し、識字・日本語学級の意義を地域で広めている。なお、識字・日本語ボランティア活動にあたる人々の活動の指針となるガイドライン『川崎市識字・日本語学習活動の指針』〔2003(平成 15)年 3 月〕が市民参加により策定され、活動のよりどころとなっている。

(2) 識字ボランティア研修

『川崎市識字・日本語学習活動の指針』『川崎市外国人教育基本方針－多文化共生の社会をめざして－』に基づき、識字(日本語)学級の学習者と支援者(ボランティア)の学び合う関係づくり、ボランティアの資質の向上、共に生きる地域社会の創造をめざして実施した。2008(平成 20)年度も分館を除く全館で実施した。新しくボランティアになりたい人向けの入門研修とすでにボランティア活動を行っている人向けのブラッシュアップ研修を実施した。2004(平成 16)年 3 月に川崎市識字学級研究開発委員会によりワークショップ(参加体験型学習)等の研修の試案が提案され、2006(平成 18)年度から、南・中・北の地域ごとに実践が始まっている。

(3) 社会人学級

中学校を卒業しているが、様々な事情で十分な学習ができなかった人を対象に、日常生活に必要な中学校課程の基礎的な知識、教養を学ぶ機会を提供するため、中原市民館で 1982(昭和 57)年に開設した。2008(平成 20)年度は教育文化会館が担当し、国語と数学などの学習を行った。

(4) 障がい者社会参加活動

障がい(主に知的障がい)のある青年を対象に、社会参加に必要な知識・技能の向上を図り、地域の中で交流を深めることをめざして、1966(昭和 41)年に産業文化会館(現教育文化会館)で初めて開設した。1998(平成 10)年には、全市民館で実施されるようになったが、一部の館では、ボランティアスタッフの人数に対して参加希望者が多く、人数制限せざるを得ない状況にある。現状では、参加者自身が一人で通える場合に限定している館が多いが、精神に障がいがある人、重度や在宅の障がい者への学習提供のあり方や当事者の参画など課題は多い。

(5) 障がい者ボランティア研修

障がい者の理解やボランティア活動のあり方などの研修を行い、障がい者が学習する権利の保障と充実、障がい者の学習に関わるボランティアの人権意識の向上を目指して実施している。「障害者ボランティアリーダー研修」として 1997(平成 9)年度から開設した。全市の障がい者社会参加活動のボランティアを対象としている。

II 1 識字学習活動

教文 (にほんごひろば)

開設期間	4月16日(水)～3月18日(水) 18:30～20:30 合計40回			
ボランティア	日本語支援	48名(公募登録ボランティア)	保育	4名(公募登録ボランティア)
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> ・サマーパーティ(7/13) 参加者 80人 ・浴衣を着る会(7/30) ・スポーツ交流会(10/8) 参加者 48人 ・ウインターパーティ(12/21) 参加者 86人 ・クラス別学習発表会(3/18) 参加者 92人(Aクラス46人・Bクラス30人・Cクラス16人) ・「にほんごひろばニュース」No.1～40発行(毎学習日) 			

幸 (1) (幸日本語学級 午前コース)

開設期間	4月16日(水)～3月18日(水) 10:00～11:30 合計37回			
ボランティア	日本語支援	18名(グループなし)	保育	8名(保育ボランティアグループ「キャンディ」)
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> ・夏のイベント(7/16) 盆踊り、太極拳、演奏、各国料理コーナー、じゃんけんゲームなど ・冬のイベント(12/10) 福笑い、紙芝居、バルーン、ハンドベル・歌など各クラスの出し物、軽食コーナー 			

幸 (2) (幸日本語学級 夜間コース)

開設期間	4月10日(木)～3月19日(木) 19:00～20:30 合計37回			
ボランティア	日本語支援	17名(グループなし)	保育	なし
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> ・FM K-city ラジオ「世界の国からこんにちは」出演(5/10) 4人 ・キリンピアビレッジ工場見学(5/25) 参加者 36人 ・夏のイベント(ダーツ・ミニボーリング大会)(8/7) 参加者 40人 ・エキゾチック横浜散策(11/15) 参加者 19人 ・冬のイベント(折り紙・ビンゴ大会)(12/11) 参加者 48人 			

中原 (1) (火曜日昼間コース)

開設期間	4月15日(火)～2月24日(火) 10:00～12:00 合計31回			
ボランティア	日本語支援	23人(ことばの木)	保育	10人(どんぐりの会)
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> ・茶話会(6/10) 参加者45人 ・料理教室(10/14、21) 参加者53人 ・生け花教室(11/18) 講師 上野 勝子(草月流) 参加者9人 ・お楽しみ会(12/14) 料理、歌、ダンス、マジック、ピニャータ 参加者50人 出演 牧原 俊幸(マジック/フジテレビ・アナウンサー) ・文集作成(2月) 			

中原 (2) (火曜日夜間コース)

開設期間	4月8日(火)～2月24日(火) 18:30～20:30 合計37回			
ボランティア	日本語支援	17人 (はらっば)	保育	なし
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> ・茶道体験とゲーム (7/15) 講師 ボランティア 参加者 36人 ・日本民家園見学 (10/26) 講師 民家園ボランティア3人 参加者 46人 ・year end パーティ (12/16) 参加者 43人 ・パーティ (2/24) 参加者 33人 ・文集作成(12月) 			

高津 (1) (たかつにほんごきょうしつ 昼コース)

開設期間	5月7日(水)～3月18日(水) 10:00～11:30 合計34回			
ボランティア	日本語支援	21人 (あいうえおの会)	保育	23人 (個人登録)
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕祭り (7/2) 講師 高津区文化協会 内海ろ之裕 他6名 参加者 46人 ・高津小学校4学年 国際交流総合学習への参加 (11/26) 参加者36人 (ボランティア11人 学習者25人) ・忘年会 (12/10) 参加者 45人 ・料理会 (3/4) 参加者 52人 			

高津 (2) (たかつにほんごきょうしつ 夜コース)

開設期間	4月17日(木)～3月12日(木) 19:00～20:30 合計34回			
ボランティア	日本語支援	16人 (三本木の会)	保育	なし
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> ・学期末パーティー (7/10・12/11・3/12) 参加者 各回 50人 ・川崎大師見学 (11/3) 参加者 34人 			

宮前 (1) (日本語学級 昼コース)

開設期間	4月18日(金)～3月13日(金) 10:00～12:00 合計35回			
ボランティア	日本語支援	21人 (宮前日本語ボランティアの会)	保育	6人 (宮前市民館保育ボランティア登録者)
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> ・茶話会 (お抹茶体験) (7/4) 講師 日本語ボランティア 1人 参加者 38人 ・着物を着る会 (7/19) 講師 宮前区文化協会 10人 参加者 20人 ・交流会 (12/12) 参加者 71人 			

宮前 (2) (日本語学級 夜コース)

開設期間	4月16日(水)～3月4日(水) 19:00～20:30 合計34回			
ボランティア	日本語支援	12名 (グループなし)	保育	なし
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> ・着物を着る会 (7/19) 講師 宮前区文化協会 10名 参加者 20名 ※昼と合同行事、夜からの参加者は無し 			

多摩 (1) (多摩にほんごクラス)

開設期間	4月9日(水)～3月18日(水) 10:00～12:00 合計38回(多摩)			
ボランティア	日本語支援	32人(多摩にほんごの会)	保育	31人(多摩保育グループ)
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> ・盆踊り教室(7/16) 講師 多摩区文化協会 ・体験しよう!外国人のための防災教室(7/30) 神奈川県総合防災センター見学 ・ゲームで学習する外国人のための防災教室(9/10) 講師:総務局危機管理室職員 ・専修大学との交流会(11/5) 「O.P.Iについて」 講師:専修大学 入江 友理 ・忘年会(12/14) ※ 出演 大正琴グループ 多摩区文化協会 <p style="text-align: right;">※ 多摩にほんごの会との共同事業</p>			

多摩 (2) (たま識字・日本語クラス 夜間コース)

開設期間	4月11日(金)～3月6日(金) 19:00～20:30 合計38回			
ボランティア	日本語支援	20名(グループ「たま語」)	保育	なし
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の和室イベント(6/20、27) 参加者25名、23名 ・盆踊り(7/25) 参加者42名 ・料理教室(9/26) 参加者40名 ・忘年会(12/19) 参加者30名 ・冬の和室イベント(2/13、20) 参加者13名、11名 			

麻生 (1) (あさおにほんごクラス 午前コース)

開設期間	4月17日(木)～3月12日(木) 10:00～11:30 合計36回			
ボランティア	日本語支援	27人(グループなし)	保育	6人(ジャンケンポン)
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署へ行こう!(消防署見学と起震車体験 他)(7/3) 講師 麻生消防署署員 参加者34人 ・お楽しみ会(ゲームと歌、ティータイム 他)(12/18) 参加者38人 ・卓球大会(卓球とティータイム 他)(3/5) 参加者35人 			

麻生 (2) (あさおにほんごクラス 夜間コース)

開設期間	4月17日(木)～3月12日(木) 18:30～20:00 合計36回			
ボランティア	日本語支援	16名(グループなし)	保育	なし
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕祭り交流会(7/17) 参加者23人 ・料理パーティー(12/18) 参加者27人 ・交流会 参加者33人 			

学習者国別リスト

(単位：人)

No.	出身国・地域	教文	幸		中原		高津		宮前		多摩		麻生		合計
		夜間	午前	夜間	午前	夜間	午前	夜間	午前	夜間	午前	夜間	午前	夜間	
1	中国	182	42	44	47	89	38	70	15	31	33	32	28	20	671
2	韓国	44	13	25	16	7	23	17	7	6	14	7	3	3	185
3	台湾	11		1	6		3	1	3	1	3	5	5	0	39
4	アメリカ	3		2	1	2	1	5	1	3	5	2	7	3	35
5	アルゼンチン	1													1
6	イギリス			1				1	1		1	1		5	10
7	イスラエル	1	1												2
8	イタリア										1				1
9	イラン				1		2		1		1	1		1	7
10	インド	92	8	2	11	14		1	1	2	2			1	134
11	インドネシア	20		2			3	9	5			1	3	2	45
12	ウクライナ	1					1		2						4
13	ウズベキスタン								1						1
14	エクアドル				2				1				1		4
15	エジプト	1													1
16	エストニア													1	1
17	エチオピア				1	1									2
18	オーストラリア		1			1		4					1	1	8
19	オーストリア												1	1	2
20	オランダ						1	1							2
21	ガーナ				1	3									4
22	カナダ					1		3		2	3	1		1	11
23	カンボジア					1									1
24	ギニア					1									1
25	キューバ					2									2
26	グアテマラ					1				2					3
27	コートジボアール					1					1		1		3
28	コロンビア	2			1			1			1		1		6
29	シンガポール	1												1	2
30	スイス							1							1
31	スペイン				1		1	1				11		1	15
32	スリランカ	3						1			7		2		13
33	タイ	22	2	1	2	2	3	3	5		6	1	7	2	56
34	チュニジア							1							1
35	チリ	2													2
36	ドイツ			1		1					1			1	4
37	ナイジェリア	1													1
38	日本	2										1			3
39	ニュージーランド		1								1			1	3
40	ネパール	10		1		2					1		1	1	16
41	パキスタン					1					2				3
42	バングラデシュ	3		1		1	1					1			7
43	フィリピン	60	8	4	9	4	28	29	11	2	12		11	6	184
44	ブラジル	14	3				1	1	1	3	4	3	2		32
45	フランス	2		1	1		1	1	3	1	2	1			13
46	ブルガリア								1						1
47	ベトナム	38	2	5	1	4	2	21		1	3	17			94
48	ベネズエラ		1												1
49	ペルー	27	8	7		1	2	1		1			1		48
50	ベルギー										1				1
51	ポリビア	1	2												3
52	マレーシア	1		1	2		1	1	2		1				9
53	ミャンマー (ビルマ)				1		1	1						1	4
54	メキシコ		4	3	1										8
55	モロッコ													1	1
56	モンゴル						1	3							4
57	ルーマニア							1						1	2
58	ロシア	1					1								2
	合計	546	96	102	105	140	115	179	61	55	106	85	75	55	1720
	延べ人数	3512	1131	997	957	684	1744	1261	1452	376	931	717	632	484	14878

II 2 識字ボランティア研修

教文 (1) 識字・日本語ボランティア入門研修

主題：異文化？良い文化！体験しま専科

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・20	土	日本語学習を通じた多文化共生を考える 外国人市民の日本語学習支援を通して、多文化共生のまちづくりを実践していくための知識や手法を得る	オリエンテーション 異言語体験学習	職員 外国人市民5人
2	24	水		ボランティアの体験談を聞いて、学級を見学する	職員 「にほんごひろば」 ボランティア3人
3	27	土		外国人市民とまち歩き	杏林大学 非常勤講師 木村 哲也 外国人市民3人
4	10・1	水		日本語学級とは？日本語学習とは？	神奈川大学 准教授 富谷 玲子
5	4	土		地域に密着した生活日本語の教材をつくる (教文・幸・ふれあい館合同研修)	木村 哲也
6	8	水		にほんごひろばの交流行事に参加する	職員
7	15	水			富谷 玲子
8	22	水		異なる文化を持つ人が日本語を学ぶときに、何に留意すればいいかなど、具体的な学習場面を考える	NPO中学・高校生の日本語支援を考える会 代表 樋口 万喜子
9	29	水			

※9/20(土)、9/27(土)、10/4(土)は、教文・幸・ふれあい館の合同研修です。

- 開設場所 教育文化会館 他
- 時間帯 主に18:30～20:30
- 対象 日本語学習支援ボランティアに関心のある方
- 参加者数 14人(男3人、女11人)
- 延べ人数 65人

教文 (2) 日本語ボランティアブラッシュアップ研修

主題：学習をわかりやすく・より深めるために

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・21	火	日頃の活動で感じている日本語教授法についての疑問や不安を共有し、解消する	「日本語教授法」の基本を地域の日本語学級に生かすために	神奈川大学 准教授 富谷 玲子
2	11・8	土		学習者の日本語レベルに応じた学習内容とその展開を考える～入門編	NPO中学・高校生の日本語支援を考える会 代表 樋口 万喜子
3	18	火		学習者の日本語レベルに応じた学習内容とその展開を考える～初級編	
4	29	土		学習者の日本語レベルに応じた学習内容とその展開を考える～中級編	
5	12・9	火		学習者の日本語レベルに応じた学習内容とその展開を考える～上級編	

- 開設場所 教育文化会館
- 時間帯 主に18:30～20:30
- 対象 日本語学習支援活動を行っている方、関心のある方
- 参加者数 28人(男8人、女20人)
- 延べ人数 63人

幸 (1) ボランティア入門講座

主題：識字学習活動の意義を理解し、外国人市民への学習支援活動を考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・20	土	外国人市民が日常感じていることを疑似体験したり、話を聴くことにより、ともに暮らしていくために何ができるか考える	オリエンテーション 異言語体験学習	外国人市民 職員
2	27	土		外国人市民とまち歩き	法政大学・杏林大学 非常勤講師 木村 哲也 外国人市民
3	10・4	土		地域に密着した生活日本語の教材をつくる	木村 哲也
4	8	水	幸市民館日本語学級の運営について学ぶ	日本語学級の見学	日本語ボランティア 職員
5	22	水	ともに学びあう場づくりのためにコミュニケーションに重点を置いた学習方法を学ぶ	多様な文化を持つ外国人市民とのコミュニケーション	(財) 海外技術者研修協会 春原 憲一郎
6	29	水		日本語ボランティアに求められるもの 日本語学習とは？	神奈川大学 准教授 富谷 玲子
7	11・5	水		学習場面を想定した進め方	かながわ開発教育センター 理事 木下 理仁
8	12	水		これからの活動について	日本語ボランティア 職員

※9/20(土)、9/27(土)、10/4(土)は、教文・幸・ふれあい館の合同研修です。

- 開設場所 教育文化会館・幸市民館 他 ●時間帯 10:00～12:00(第4回以降は13:00～15:00)
- 対象 日本語学習支援ボランティアに関心のある方
- 参加者数 9人(男2人、女7人) ●延べ人数 43人

幸 (2) 午前ブラッシュアップ

主題：学習者とボランティアが共に学びあう「共同学習の場」をつくる

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	7・23	水	多文化共生をめざす日本語学習の場づくりとボランティア活動のすすめ方 を考える	共同学習の場について考え、今の学習活動を見つめなおす	T I J 東京日本語研究所 名誉所長 高柳 和子
2	8・27	水		外国人学習者の話したいことを引き出し、語彙を広げるにはどうしたらよいか	
3	9・24	水		学習の場に活かせるファシリテータの役割を学ぶ	
4	10・22	水		多文化共生に向けた共に学びあう識字・日本語学習とは何か	川崎市ふれあい館 職員 金 迅野
5	11・26	水		日本語ボランティアと外国人学習者でこれまでの学習活動を振り返る	外国人市民 日本語ボランティア(研修係) 職員
6	2・4	水		今後の活動について 日本語ボランティアに求められるもの	日本語ボランティア(研修係) 職員
7	3・4	水			

- 開設場所 幸市民館 ●時間帯 13:00～15:00
- 対象 識字・日本語ボランティア
- 参加者数 20人(男5人、女15人) ●延べ人数 94人

幸 (3) 夜間ブラッシュアップ

主題：識字ボランティアの資質向上を図り多文化共生社会の実現をめざす

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6・19	木	多様な文化をもつ市民が共に生きる地域社会の実現をめざすための活動や学級のあり方について考える	写真やジェスチャーなど、ツールを効果的に使った日本語学習支援の方法について学ぶ	桜美林大学言語教育研究所 研究員 松下 達彦
2	9・18	木		川崎市の外国人市民の現状を理解し、日本語学習についての意見・情報交換を行なう	慶応義塾大学 准教授 柏崎 千佳子
3	11・20	木		多文化共生をめざす日本語学習方法について考える	神奈川大学 准教授 富谷 玲子
4	2・19	木		多文化理解と川崎市の識字学級がめざすものについて、改めて考える	法政大学 教授 山田 泉

- 開設場所 幸市民館
- 時間帯 18:30～20:30
- 対象 幸地区で活動している識字ボランティア、及び識字ボランティア活動の経験がある方
- 参加者数 20人（男6人、女14人）
- 延べ人数 68人

中原 (1) ブラッシュアップ I

主題：異交通コミュニケーションを目指して

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	7・29	火	異交通コミュニケーションが可能となるような学習支援の方法を学ぶ	楽しい学習への工夫① 初級者への学習支援	早稲田大学日本語教育センター 講師 塩崎 紀子
2	8・26	火		楽しい学習への工夫② 中級者への学習支援	
3	9・9	火		楽しい学習への工夫③ 上級者への学習支援	

- 開設場所 中原市民館
- 時間帯 13:00～15:00
- 対象 識字・日本語ボランティア及び関心のある方
- 参加者数 41人（男4人、女37人）
- 延べ人数 99人

中原 (2) ブラッシュアップ II

主題：横浜の取組みと当事者の外国人の声を聞く

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・24	土	川崎市以外の地域の取組みから学び、学習者の外国人の日本語学級に期待することを聞く	中国帰国者の日本語学習支援から始まった「ユッカの会」の活動を聞く	ユッカの会 代表 中 和子
2	2・7	土		地域日本語学級に期待すること	NPO法人KFV 代表 金 熙淑

- 開設場所 中原市民館
- 時間帯 14:00～16:00
- 対象 関心のある方
- 参加者数 16人（3人、女13人）
- 延べ人数 22人

中原 (3) 入門

主題：市民が支える地域日本語学級

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	7・19	土	「教える－教えられる」の関係性の強い日本語学校ではなく、市民が対等の立場で、ボランティア活動として学習支援に取り組む『出会いと対話の場』としての地域日本語学級の役割を学ぶ	地域日本語学級のめざすもの、果たす役割を学ぶ	早稲田大学日本語研究センター 講師 塩崎 紀子
2	26	土		川崎の日本語学習支援の歴史と当事者の気持ち	NPO法人KFV 代表 金 熙淑 職員
3	8・1	金		学習現場見学「せかいじん」	ボランティアグループ 「せかいじん」
4	2	土		日本語学習支援の方法を学ぶ1	塩崎 紀子
5	10	日		日本語学習支援の方法を学ぶ2	
6	30	土		外国人からの相談への対応、法律関係基礎知識	ふれあい館 職員 原 千代子
7	9・9	火		学習現場見学「ことばの木」「はらっぱ」	日本語ボランティアグループ 「ことばの木」「はらっぱ」会員
8	13	土		日本語学習支援のありかた	TIJ東京日本語研修所 名誉所長 高柳 和子

- 開設場所 中原市民館
- 時間帯 主に10:00～12:00
- 対象 関心のある方
- 参加者数 44人(男7人、女37人)
- 延べ人数 235人

高津 (1) 日本語ボランティアブラッシュアップ研修1

主題：日本語学習の「場づくり」において必要とされていることを学ぶ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・10	水	初級後半の学習者に対して自信を持って学習支援を行えるようにする	初級後半の文法を学習者にどう渡すかということについて学ぶ	TIJ東京日本語研究所 名誉所長 高柳 和子
2	10・8	水			
3	11・12	水			
4	1・31	土	日本に暮らす外国人が抱える生活課題を知る	(中原・高津・宮前合同プログラム) 災害等に外国人の命を助ける「やさしい日本語」について学ぶ	減災のための「やさしい日本語」 研究会・大東文化大学 前田 理佳子

※1/31(土)は中原・高津・宮前の合同プログラムです。

- 開設場所 高津市民館
- 時間帯 10:00～12:00
- 対象 日本語ボランティア・関心のある方
- 参加者数 33人(男8人、女25人)
- 延べ人数 61人

高津 (2) 識字ボランティア研修2

主題：識字ボランティアのブラッシュアップを目的とした研修

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	7・26	土	学習者の理解しにくい部分をわかりやすく説明する方法を学ぶと同時に、識字学級の理念を反映した学級づくりについて確認する	昨年度のボランティア研修での課題の確認をおこない、今年度の現状把握、問題設定とその解決に向けた具体的な方法を話し合う	職員
2	8・2	土		職員	
3	9・27	土		日本語の文法について理解し、学習者のレベルに応じた説明方法を学ぶ	明海大学 講師 渡邊 亜子
4	10・4	土		日本語ボランティアを行なう際の心構えやボランティアグループを運営していくための留意点を学ぶ	TIJ東京日本語研修所 名誉所長 高柳 和子
5	2・7	土			

- 開設場所 高津市民館
- 時間帯 9:00～12:00
- 対象 日本語ボランティア・関心のある方
- 参加者数 20人(男5人、女15人)
- 延べ人数 56人

宮前 (1) 日本語ボランティアブラッシュアップ研修

主題：日本語ボランティアとして活動している人のためのブラッシュアップ研修

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・5	金	学習者が直面している生活の場での日本語活用に密着した学習場面が展開できるようにスキルアップを目指す	「～ている」の分類とその教え方を学ぶ	早稲田大学日本語教育センター 講師 塩崎 紀子
2	12	金		「自動詞・他動詞」の分析とその教え方を学ぶ	
3	19	金	学習支援に求められるものの再確認と課題点の解決法を探る	問題点をお互いに認識しあい、研修から得た知識をどのように活かすか話し合う	職員

- 開設場所 宮前市民館 ●時間帯 13:00～15:00
- 対象 宮前日本語ボランティアの会他
- 参加者数 48人(男5人、女43人) ●延べ人数 84人

宮前 (2) 識字ボランティア入門研修

主題：ともに学びあう関係をつくる日本語ボランティアを目指す

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・24	金	川崎市で共に暮らし、日本語を学ぼうとする、外国籍市民の実際を知る	川崎市の外国籍市民の多様な状況を理解する(国、民族、母語、年齢、就業、結婚など)	中原市民館 職員 山田 貴夫
2	31	金	共に学ぶ日本語とは①	ワークショップ「生活の中の日本語とは何か～学習者とともに町へ出てみよう～」	杏林大学 講師 木村 哲也 宮前日本語学級学習者
3	11・7 28 12・5	金	日本語学級の現場にふれる	日本語学級の活動を見学する	職員
4	11・14	金	共に学ぶ日本語とは②	外国人市民を講師とした異言語体験	宮前日本語学級学習者
5	21	金	共に学ぶ日本語とは③	学習者の求めているものは何か場面を想定しての学習の提供について	TIJ東京日本語研修所 名誉所長 高柳 和子
6	28	金	コミュニケーション能力を高めよう	言葉を使わないコミュニケーションのワークショップとグループディスカッション	財団法人海外技術者研修協会 AOTS日本語教育センター長 春原 憲一郎
7	12・5	金	今後の課題と活動について	これからの日本語ボランティア活動を考えるにあたり、川崎の目標と課題を理解する	横浜国立大学 准教授 矢野 泉

- 開設場所 宮前市民館 他 ●時間帯 13:30～15:30
- 対象 関心のある方
- 参加者数 15人(男2人、女13人) ●延べ人数 96人

中原・高津・宮前 中原・高津・宮前合同識字ボランティア研修

減災のための「やさしい日本語」～日本語の不慣れな人を情報弱者にしないために

主題：ともに学び識字学習をめざす

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・31	土	日本に暮らす外国人が抱える生活課題を知る	必要な情報を外国人に伝えるための理解しやすい日本語の表現方法を学び、学習支援、生活支援等に結びつける	減災のための「やさしい日本語」 研究会・大東文化大学 前田 理佳子

- 開設場所 高津市民館 ●時間帯 10:00～12:00
- 対象 日本語ボランティア・関心のある方
- 参加者数 13人(男6人、女7人)

多摩・麻生 (1) ブラッシュアップ研修Ⅰ (体験!出張〇〇にほんごクラス)

主題:教科書を使わない日本語学習支援を体感する

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・ 2	月	異なる日本語学習支援の方法を学び、後半の「体験!〇〇日本語教室」に向けての準備を行う	異なる教室の学習支援	元しんじゅく多文化共生プラザ 日本語コーディネーター 吉田 聖子
2	9	月		レベルチェックはどうしているの?	
3	12	木		体験!出張〇〇日本語クラスに向けて①	
4	19	木		体験!出張〇〇日本語クラスに向けて②	
5	23	月	異なる日本語学習支援を体験することで、現在の識字学級の支援方法を振り返り、改めて考える	体験!出張〇〇日本語クラス①	アシスタント 吉田 聖子 大森 優
6	3・ 2	月		体験!出張〇〇日本語クラス②	
7	9	月		体験!出張〇〇日本語クラス③	
8	23	月		体験!出張〇〇日本語クラス④	

※全て多摩・麻生の合同研修です。

- 開設場所 多摩市民館・麻生市民館
- 時間帯 10:00~12:00 14:00~16:00 9:30~12:30
- 対象 市内で活動中の識字ボランティア
- 参加者数 23人(男6人、女17人)
- 延べ人数 137人
- 保育内容 自由遊び
- 保育参加者数 1人(男1人、女0人)
- 保育者 多摩保育グループ・ジャンケンポン

多摩・麻生 (2) ブラッシュアップ研修Ⅱ (知って役立つ6つの話)

主題:外国人市民を取り巻く環境について考え、課題解決への一助とする

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・ 4	水	川崎市では、外国人市民と日本人市民が共に学び合いながら、相互理解を深め、自分たちが暮らしているまちを「共に生きる社会」にしていくことをめざして、識字学級を開設している。「多文化共生のまちづくり」を担う識字ボランティアの資質を高めることにより、識字学習活動の活性化とさらなる充実を図る	川崎で暮らす外国人市民の社会環境について川崎市の外国人市民施策	市民・こども局 職員 小川 清
2	13	金		日本における外国人労働者雇用の現状と課題	独立行政法人 労働政策研究・研修機構 主任研究員 渡邊 博頭
3	14	土		地域日本語学習支援の現状と課題	法政大学 教授 山田 泉
4	27	金		にほんごの会くれよん(目黒区)の活動とくれよんにほんごノートの制作について	にほんごの会くれよん 代表 茂木 真理、日向 由子
5	3・ 3	火		外国人相談からわかる外国人市民の抱える課題	川崎市国際交流協会 外国人相談員
6	6	金		在日外国人が抱える多文化ストレス	明治学院大学 教授 阿部 裕

※全て多摩・麻生の合同研修です。

- 開設場所 多摩市民館・麻生市民館
- 時間帯 主に14:00~16:00
- 対象 市内で活動中の識字ボランティア
- 参加者数 46人(男8人、女38人)
- 延べ人数 107人

多摩・麻生 多摩市民館・麻生市民館識字ボランティア合同視察 武蔵野市国際交流協会(MIA)の日本語コースの視察

主題:他都市の事例を見学し、両館の日本語学習支援の一助とする

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・ 21	金	視察だけでなく、全体ミーティングなどで報告をし、体験の共有化を図る	武蔵野市国際交流協会日本語コース(21日:午前、27日:夜間)の視察・コーディネーターやボランティアとの懇談・体験参加	武蔵野市国際交流協会 コーディネーター 薦田 庸子・宮崎 妙子 ・河北 祐子 他
2	11・ 27	木			

※全て多摩・麻生の合同研修です。

- 開設場所 多摩市民館・麻生市民館
- 時間帯 21日11:00~13:00 27日18:30~20:00
- 対象 多摩市民館・麻生市民館で識字ボランティアをしている方
- 参加者数 21日4人 27日4人
- 延べ人数 8人

Ⅱ3 社会人学級

1. 趣 旨

中学校は卒業しているが、いろいろな事情で十分に学習できなかった人が、中学校初級程度の学力を身につけるとともに、学習の楽しさを知り、自分で学んでいける力を培うことをねらいとする。

2. 対 象

市内在住または在勤の15歳以上の方

3. 開催期間・時間

5月9日(水)～2月27日(金) 18:30～20:30

4. 会 場 教育文化会館

5. 指導方針

原則として、国語・数学を中心に、週2回の学習で、いずれも中学校程度の学習を行なうが、学習者の学力・要望に応じて弾力ある学習展開を行なう。

6. 科目・内容・回数・講師

科 目	主 な 学 習 内 容	回数	講師・助言者など
国 語	随筆、詩、論説、短歌と俳句、古典(源氏物語)小説、童話、ことばと漢字、文集作成	30	元教師 鈴木 良雄
数 学	数のいろいろ、分数の計算、2進法、正・負の数、文字と式、式の展開、座標、因数分解、平面図形	30	元教師 笠 ヒサ子
特 別 講 座	音 楽 音楽鑑賞、一緒に歌いましょう	2	音楽指導者 古渡 智江 南雲 彩
	課 外 活 動 ホームルーム：学級の運営方法などを話し合い、交流を深める	1	職員 鈴木 良雄 笠 ヒサ子

7. 受講者数

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
男	0	0	1	1	1	7	1	1	12
女	0	1	1	0	3	7	4	0	16
計	0	1	2	1	4	14	5	1	28

8. 延べ人数 839人

II 4 障がい者社会参加活動

教文 (教文青年教室)

主題：ともに生きる地域社会を築くために

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・11	日	グループワークとコミュニケーション1	自己紹介、班決め ミニ映画会	職員 ボランティアスタッフ
2	6・15	日	グループワークとコミュニケーション2	万華鏡づくり	
3	7・13	日	社会と文化にふれる1	水族館見学(しながわ水族館)	
4	8・10	日	スポーツと仲間づくり1	ボウリング大会(川崎グランドボウル)	
5	9・13,14	土日	グループワークとコミュニケーション3	夏の一泊旅行(三浦ふれあいの村)	
6	10・12	日	スポーツと仲間づくり2	スポーツ交流会(JFE水江体育館)	
7	11・16	日	自己表現1	買い物から料理実習(創作カレーとサラダ)	
8	12・14	日	社会と文化にふれる2	お台場で昼食バイキング(東京都水の科学館、東京ベイ有明ワシントンホテル)	
9	1・11	日	自己表現2	初詣と新年会(カラオケスタジオPIA、稲毛神社)	
10	2・8	日	社会と文化にふれる3	温泉施設でリラックス(横浜市高齢者保養研修施設ふれーゆ)	
11	3・8	日	グループワークとコミュニケーション4	今年度の反省と来年度の計画づくり	

- 開設場所 教育文化会館 他
- 時間帯 主に10:00～14:00
- 対象 市内養護学校、特別支援学校の卒業生等
- 参加者数 37人(男28人、女9人)
- 延べ人数 260人

幸 (サンデーフレンドパーク)

主題：地域への参加と仲間作り

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6・22	日	参加者同士やボランティアと、活動とおした交流で地域の仲間を作ると共に、協調性を育む。また、地域イベントの参加を活動に組み込むことで、積極的な社会参加を促す	自己紹介、年間活動話し合い	ボランティアスタッフ
2	7・20	日		料理実習(手作りパンとスープ)	料理指導者 新堀 智子、中西善博、ボランティアスタッフ
3	8・23	日		「多文化フェスタさいわい」見学、バス旅行説明会	ボランティアスタッフ
4	9・28	日		バス旅行(山梨県甲府市方面、ぶどう狩りなど)	
5	10・26	日		工作(手作りキャンドル)	
6	11・30	日		工作(正月飾り)	
7	12・20	土		餅つき(幸区地域教育会議と合同開催)	
8	1・18	日		体を動かすゲーム	
9	2・15	日		料理実習(すいとん)	
10	3・15	日		振り返り	

- 開設場所 幸市民館 他
- 時間帯 13:30～15:30
- 対象 主に市内在住の知的障がいのある方
- 参加者数 9人(男6人、女3人)
- 延べ人数 75人

中原 (ヤングジャンプセミナー)

主題：社会参加と生活を豊かにする方法を学ぶ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	4・20	日	日常生活とは異なる場での活動や交流を通じて新しく参加した仲間と協調性を育み、全員で活動計画をつくり、自主的な運営によって、障がいを持つ人たちの社会参加を促進する	受付と年間計画作成	ボランティアスタッフ
2	5・18	日		青少年科学館見学、プラネタリウム鑑賞	
3	6・15	日		体を動かす(太極拳、卓球、ダンス)	中原太極拳研究会 毒島 ケイ子 日本体育協会 スポーツ指導員 小島 緑
4	7・27	日		料理講習(ピザ)	料理研究家・栄養士 米井 智子
5	9・20 21	土 日		合宿(青少年の家)	ボランティアスタッフ
6	10・19	日		横浜ズーラシア見学	
7	11・16	日		クリスマス会準備(折り紙)	ボランティアスタッフ 職員
8	12・21	日		クリスマス会	ボランティアスタッフ
9	1・18	日		三鷹の森ジブリ美術館見学	
10	2・15	日		料理講習(そばうち)と1年の反省会	NPO法人福祉振興会 職員 ボランティアスタッフ

- 開設場所 中原市民館・生田緑地 他
- 対象 障がいのある人
- 参加者数 37人(男22人、女15人)
- 時間帯 主に10:00～14:00
- 延べ人数 264人

高津 (日曜ふれあい広場)

主題：生き生きとした学習活動と社会参加

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・18	日	同じ地域の仲間や、ボランティアスタッフとさまざまな内容の実習や学習活動を行ない、コミュニケーションと余暇の充実、地域社会への参加を図り、ノーマライゼーションの理念に基づき共に生きる地域社会の実現をめざす	自己紹介と写真撮影 自分だけの名札と連絡帳を作ろう	ボランティアスタッフ(通年)
2	6・15	日		夏祭り(レクリエーションと炭鉱節) 焼きそば、おにぎり、かき氷屋台 魚釣りゲームと折り紙教室	協力 スーパーマーケット恒川 県立高津養護学校 宮前平こども文化センター
3	7・20	日		バスハイク(新江ノ島水族館)	ボランティアスタッフ(通年)
4	8・23	土		わくわくスタジアムinたかつ 高津養護学校ボランティアとゲーム	協力 県立高津養護学校
5	9・21	日		外出コース(環境エネルギー館見学①) 館内コース(ゲーム、カラオケ大会)	ボランティアスタッフ(通年)
6	10・19	日		運動会(高津養護学校体育館) 玉送り、玉入れ、パン食い競走など	
7	11・16	日		外出コース(環境エネルギー館見学②) 館内コース(工作教室、カラオケ大会)	クラウンサークル 内田 恵美子 他4人
8	12・21	日		クリスマス会(飾りつけとビンゴ大会) クラウン、新井健司さんのピアノと歌	
9	1・18	日		正月の思い出、フラダンス教室 語り部の会の昔話と歌と手遊び	マウナケア・フラサークル 語り部の会・いろりばた
10	2・15	日		バスハイク(羽田空港、川崎マリエン)	ボランティアスタッフ(通年)
11	3・15	日		アルバム作り、ふりかえり	

- 開設場所 高津市民館 他
- 対象 主に区内在住の障がいのある人
- 参加者数 40人(男28人、女12人)
- 時間帯 主に10:00～14:00
- 延べ人数 416人

宮前（宮前ウインズ）

主題：仲間と一緒に様々な活動を楽しむ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・11	日	いろいろな体験を通じて 余暇活動の充実を図ると ともに、みやまえウイン ズを通じて仲間やサポー ターとのつながりあいを 深める	オリエンテーション	みやまえウインズサポーター、 職員
2	6・8	日		ポーリング大会（鷺沼ボウル）	
3	7・13	日		バスハイク①（富士サファリパーク）	
4	9・14	日		今後へ向けた話し合い	
5	10・12	日		カラオケ	
6	11・9	日		ゲーム大会	
7	12・14	日		クリスマス会	
8	1・11	日		バスハイク②（浅草花やしき）	
9	2・8	日		3月の話し合い	
10	3・8	日		バーベキュー会（青少年の家）	

- 開設場所 宮前市民館 他
- 時間帯 10:00～14:00
- 対象 主に区内在住・在勤の障がいのある青年
- 参加者数 30人（男19人、女11人）
- 延べ人数 336人

多摩（1）（青年教室）

主題：地域の仲間と充実した社会生活を！

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・17	土	地域での体験活動や交 流、専門家から指導を受 けるアート体験などをと おして、障がいのある人 の社会や地域活動への参 加を促す	オリエンテーション 年間計画を立てる	ボランティアスタッフ、職員
2	6・28	土		地域の人から教えてもらおう （生け花体験とピザづくり）	多摩区文化協会 ボランティアスタッフ
3	7・26	土		地域の人から教えてもらおう （自彊術とうどんづくり）	自彊術向ヶ丘の会 ボランティアスタッフ
4	9・7	土		体験！ダンス・デ・コミュニケーション	コミュニティダンス 指導者 佐藤 郁
5	27	土		バスハイク （ぶどう狩りと信玄餅包装体験）	ボランティアスタッフ、職員
6	10・18	土		バスハイク （ソレイユの丘と市場見学）	
7	11・15	土		アート体験①マイバックをつくろう	造形作家 小笠原 真子 ボランティアスタッフ
8	12・13	土		クリスマス会	昭和音楽大学 ボランティアスタッフ
9	1・31	土		アート体験②書道体験をしよう	元教諭 有馬 高枝 ボランティアスタッフ
10	3・7	土		反省会	ボランティアスタッフ、職員

- 開設場所 多摩市民館 他
- 時間帯 10:00～15:00
- 対象 区内在住・在勤の障がいのある青年
- 参加者数 40人（男22人、女18人）
- 延べ人数 177人

多摩 (2) (ダンス・デ・コミュニケーション)

主題：障がいのある人と健常者が、一緒に体を動かして学びあう

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・7	日	コミュニティダンスを学ぶきっかけをつくる	コミュニティダンスを体験する	コミュニティダンス指導者 佐藤 郁
2	28	日	ダンスをコミュニケーションの手段として使えるようになる	ダンスを楽しみ交流する さまざまな道具や音をきっかけに動くことにより、自分の好きなこと、得意なことを発見する	
3	10・26	日		自己表現することで、ひとりひとりの個性の違いを認識する 即興的表現を通じてお互いを刺激し感覚を磨く	
4	11・16	日			
5	12・7	日			
6	1・18	日			
7	2・1	日			
8	22	日			
9	3・8	日	学習したことを発表することにより、より深める	発表にむけての練習	
10	15	日	「たま学びのフェア2009」で発表		

●開設場所 多摩市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 知的障がいのある方、ない方

●参加者数 20人(男5人、女15人)

●延べ人数 94人

麻生 (麻生青年教室)

主題：地域で仲間と明るく、楽しく、未来へ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・18	日	仲間とボランティアスタッフとの新しい発見、体験、出会いが得られる場となることを目指す。障がいの有無にかかわらず同じ地域住民として、対等の関係で様々な人と関わりながら活動する	開講式(ピアノ演奏による歌・ピアノ演奏に合わせてみんなで歌おう)	渡辺 多代(オペラ独唱) 一木 未早(ピアノ演奏)
2	6・22	日		コース別活動 ボウリングコースと料理コース	ボランティア
3	7・13	日		バスハイク(青梅鉄道公園・奥多摩)	
4	9・21	日		ハイキング(こどもの国)	
5	10・19	日		コース別活動 カラオケコースと料理コース	
6	11・23	日		ハイキング(農業技術支援センター…フルーツパーク)	
7	12・21	日		バスハイク(クリスマスツアー・横浜～お台場～東京タワー)	
8	1・17	土		みんなでお餅つきの準備	
9	18	日		お餅つき (あんこ・きなこ・いそべ・雑煮)	
10	2・15	日		ゲーム大会とフォークダンス	
11	3・15	日		閉講式 (よさこいそーらんとランチ)	

●開設場所 麻生市民館 他

●時間帯 主に10:00～15:00

●対象 区内在住の知的障がいのある青年

●参加者数 35人(男22人、女13人)

●延べ人数 295人

II 5 障がい者ボランティア研修

全市合同 障がい者社会参加活動事業ボランティア合同研修

主題：事業の歴史の振り返りと、知的障がいについて学び、交流を図る

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・1	日	障がい者に関わるボランティアとして何ができるか、その意義を考える	教育委員会における「障害者青年教室」のはじまり	元田島養護学校 校長 荒川 佳紀
2			知的障がいについての理解と障がいのある方との接し方を身につける	知的障がいを知る 知的障がい者への理解とコミュニケーション	川崎市障害者更生相談所 小嶋 珠実

●開設場所 中原市民館 ●時間帯 10:00～15:00

●対象 各館のボランティア、関心のある方

●参加者数 24人（男15人、女9人） ●延べ人数 24人

多摩 障がい者ボランティア研修

主題：知的障がい者（青年）への対応方法を学ぶ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	3・7	土	青年教室のボランティア活動における実践力の向上	（前半）音大生によるコンサートで歌って踊ろう （後半）コンサート内容及び運営上の留意点についての解説	昭和音楽大学 准教授 久保田 牧子 講師補助 学生 他 8人

●開設場所 多摩市民館 ●時間帯 13:00～15:00

●対象 青年教室 ボランティア

●参加者数 7人（男2人、女5人）